

# 謹んで新年のごあいさつを申し上げます

## 新たな視点で、地域の価値を見いだす一年に

皆さま、明けましておめでとうございます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、社会経済に多大な影響を受けました。本市においても、小・中学校および認定こども園などの休校・一部休園、公共施設の臨時休業を実施したほか、石狩市三大秋祭りをはじめ、多数のイベントを中止する判断をしました。市民の皆さまには感染拡大防止にご協力いただきましたことに、心から感謝申し上げます。本年も引き続き、3密の回避やマスクの着用、手洗いの励行などに取り組んでいただきますようお願いいたします。

このような状況ではありますが、嬉しい出来事もありました。道の駅石狩「あいりーど厚田」は、道内の「景色がきれいだと感じた道の駅ランキング」で2年連続第2位に選ばれたほか、9月と10月には、前年同月を上回る来場者数となりました。また、厚田キャンプ場においても前年の

2倍を超える方々にご来場いただきました。コロナ禍において、自家用車での近場への小旅行や、屋外での3密を避けたレジャーに注目が集まる中、新たな視点で地域の価値を見だし、本市の魅力の発信を図っていきたく存じます。

さて、今春には石狩湾新港地域に大規模倉庫型店舗の開業が予定されています。市内外から多くのお客さまを呼び込み、新たな活力を吹き込む拠点となるものと期待しています。また、樽川地区に「(仮称)ふれあいの杜子ども館」が着工します。令和4年秋にオープンを予定しており、放課後の子どもの居場所づくりだけではなく、子育て世代の支援や交流の場として、多世代がふれあい、つながる場となるよう、取り進めてまいります。

本年は丑年です。「丑」は、種が芽吹く前に力を蓄えている状態を表しており、丑年はこつこつと結果につながる基礎をつくって



いく年になると言われています。先の見通せない厳しい状況ではありますが、時代の大きな転換期であることを強く認識し、持続的な地域経済の回復とにぎわいの創出に向け、歩みを止めることなく新しい石狩を1つ1つ着実に築いていきます。

結びに、新型コロナウイルス感染症の一日も早い終息と、市民の皆さまのご健勝とご多幸を心より祈念申し上げます、年頭のごあいさつとさせていただきます。

令和3年 新春

石狩市長 加藤龍幸



# KALMA

2000年生まれの若者たちが本年、成人の日を迎えます。  
その二十歳の代表として、昨年メジャーデビューを果たしたロックバンド  
「KALMA(カルマ)」にインタビュー。  
メンバー2人が石狩市出身・在住という彼らに、未来の抱負や、故郷への思いを聞きました。



## プロフィール

2000年生まれの畑山悠月(ボーカル・ギター)、斉藤陸斗(ベース)、金田竜也(ドラム)の3人からなるロックバンド。2016年4月に結成、2018年5月にタワーレコード札幌ピヴォ店のみで販売された自主制作CD「少年から」で注目される。2018年7月には岩見沢市で行われているライブイベント「JOIN ALIVE」に出演を果たし、11月には初の全国流通作品「イノセント・デイズ」を発表。2020年3月にミニアルバム「TEEN TEEN TEEN」でメジャーデビュー。



▲公式サイト

## 思い出の場所「あいぼーと」で撮影!

写真は、畑山さんと斉藤さんが小学校時代から通いつめた児童館・こども未来館「あいぼーと」のスタジオ。夢に向かって音をかき鳴らしていた彼らの“原点”であるこの場所で、撮影&インタビュー!